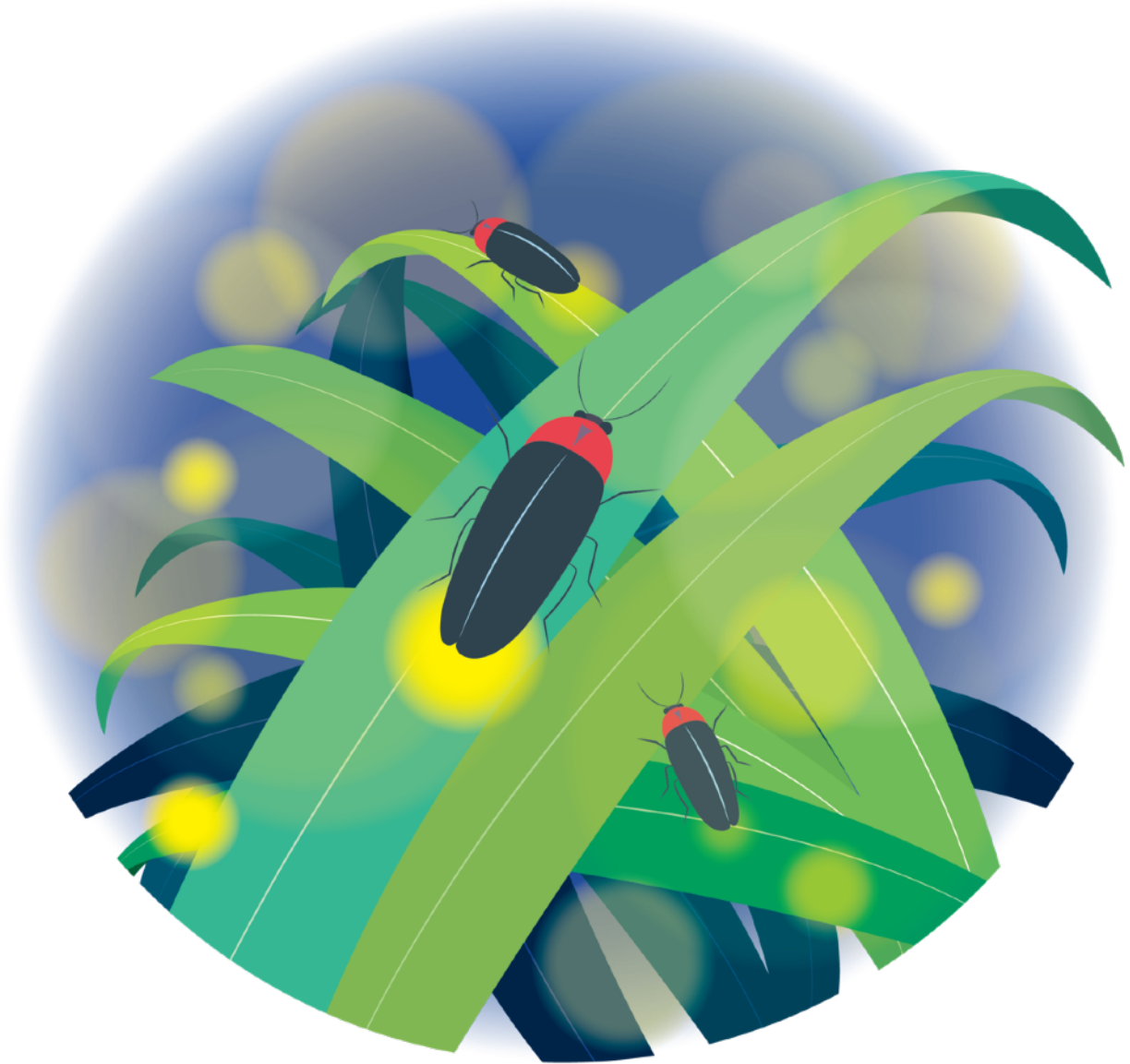


ホタル観察ガイド



ホタルの種類

ホタルは、全世界に分布していて、2000種以上いるそうです。

幼虫が水の中で暮らす水性ホタルと、陸上で暮らす陸生ホタルに分けられます。

日本には約50種類のホタルが生息していますが、そのうち夜間に強く光るのはゲンジボタルやヘイケボタルなど10種類ほどです。ホタルの多くは光らないか、光が非常に弱いです。水生ホタルは、日本産ではゲンジボタル、ヘイケボタル、クメジマボタルのわずか3種類しかいません。

木島平村で見られるホタル

はっきり確認されているものは、ゲンジボタルとヘイケボタル、ヒメボタルの3種です。ヒメボタルは陸生のホタルで、森林の中やその周辺で見られます。

ホタルの生態

ホタルの一生は、卵→幼虫→蛹→成虫と変化します。**寿命は1～2年、成虫時期は10～14日**とされています。代表的なゲンジボタル、ヘイケボタルは、卵を水辺の苔などに産み付け、幼虫は水の中で暮らします。蛹になる際に地上に上がり、土中で蛹になります。

ホタルが住む環境

ホタルが暮らすことができる環境は、水性ホタルと陸生ホタルでは異なりますが、いずれも、餌となる貝類が豊富にあることは共通しています。ゲンジボタルやヘイケボタルのような水性ホタルの場合は、**餌になるカワニナなどの貝類が住める綺麗な水質**が欠かせません。また、産卵や蛹の時期、成虫になってから羽を休めたり、昼間に身を潜めたり、交尾をする際には、**土の地面や苔、草の茂みなど、水辺の周りの自然環境も必要**です。

木島平村でも、ホタルが多く見られる場所は、そのような環境条件が揃っているとこれになります。

ホタルの観察・楽しみ方

＊ホタルの光り方どんなかな？

解説：ホタルの光り方は、種類や雌雄で点滅周期や明るさがちがいます。また、日本国内では、地域によって点滅周期が異なり、これまでは、西日本より東日本のホタルの方が、点滅周期が長いと言われていましたが、近年例外があることが報告されています。

＊ホタルの飛び方はどんなかな？

解説：夜、光ながら飛んでいるホタルはほとんどオスです。結婚相手のメスを探して飛んでいると言われていています。あまり力強く飛ぶことはできないので、風がある時はあまり飛びません。

＊飛んでいるホタルと飛ばないホタルの違いはあるかな？

解説：飛んでいるのは、ほとんどオスです。メスは、草や木に止まって、オスを待っていることが多いです。また、ヘイケボタルの一部のメスは、羽が退化していて、そもそも飛ばない個体もあるそうです。

ホタルの疑問あれこれ

Q.源氏と平家？名前の由来は？

A.ゲンジボタルとヘイケボタルが光って飛び交うようすが、源氏と平家の魂が死んでもなお合戦をくり広げているようだったから、という説があります。

Q.ゲンジボタルとヘイケボタルの見分け方は？

A.光り方もちがうよ。ゲンジボタルは大きくゆっくり光る。ヘイケボタルはとても小さな光がすばやく明滅します。また、ゲンジボタルとヘイケボタルは、住む場所が異なり、ゲンジボタルは、流れがある細い川や水路、ヘイケボタルは、水田や溜池など流れが少ない場所を好みます。

Q.なんのために光るの？

A.子孫を残すため、結婚相手を見つけるためです。ホタルの成虫は、天敵にねらわれないよう夜に活動するので、暗い中で相手に気づいてもらうために光るのです。

Q.ホタルが見られる時期は？

A.ゲンジボタルでは、温かい地方では5月中旬から見られ、寒い地方や標高が高い場所では7月中旬くらいからのところもあります。木島平では6月中旬から見られます。ヘイケボタルは、少し遅れて見られる様です。

Q.よく見られる時間帯は？

A.一般には、日没から2時間くらいと言われていています。木島平では、8時前後が多い様です。

Q.ホタルは何を食べるの？

A.ゲンジボタルとヘイケボタルの場合、いずれも水性ホタルなので、水中にいる貝を食べます。ゲンジボタルはカワニナがほとんどで、ヘイケボタルはカワニナの他にモノアラガイ、シジミ、タニシなども食べます。成虫になると水分しか摂りません。

ホタル観察時の注意点

観賞する際は以下の点に気をつけるように心がけよう。

- ❖ ホタルスポットの近くには、民家もあります。夜の観察になるので、住民に迷惑がかからないように静かに行動してください。また、車を止める場所は、通行の邪魔にならないようにご注意ください。
- ❖ ホタルスポットには、水路などの危険箇所がありますので、足元には十分注意をしてください。
- ❖ 鑑賞は静かな声で。笑い声、大声でのおしゃべりなど大きな声もダメ。ホタルは音にも敏感。小さな子供と一緒にの際は特に注意。
- ❖ 車のハザードランプ、スマートフォンのライトや画面の灯り、写真のフラッシュも厳禁。ホタルが発光を止めてしまうこともあり。他の楽しんでいただいている皆さんにも迷惑。
- ❖ 蚊やアブなどの害虫対策は忘れずに。ただし、虫よけは、「ホタル」も苦手なので、観賞前に自宅などで使うように。